

第2章 景観まちづくりの基本目標、基本方針

2-1 景観まちづくりの基本目標、基本方針

(1) 景観特性と課題

墨田区では、江戸時代から継承されてきた多くの歴史的資源とともに、粋な心、人と人との近い距離感や親密さなどの下町らしさが個性として息づき、区民の誇りとなっています。また、隅田川や荒川などの大河川と北十間川などの江戸から明治にかけて物流を支えてきた江東内部河川が、潤いのあるすみだのまちを特徴づける、水と緑に恵まれた自然景観を創出しました。このような歴史・自然、人々の営みによって育まれてきたすみだの個性を継承・活用し、新たな要素を付加しながら発展させていくことで、すみだの新しい景観まちづくりを展開していくことが求められます。

一方、新タワーの建設は、これまでにない全く新しい景観を生み出すこととなります。これによって、すみだの街の魅力が区民に限らず、国内外の人々に幅広く発信されることになり、新たに生み出されるすみだの魅力をもてなしのこころをもって区の枠を超えた多くの人々と共有し、世界に誇れる景観まちづくりを実現することが期待されます。

また、区内には歴史の積み重ねの中で多様な景観が育まれてきています。具体的には、東京都の副都心として位置づけられる錦糸町駅周辺等の拠点的な景観、区内を縦横に流れる江東内部河川等の自然豊かな景観、商店街などの旧来から残る景観や近年急増する高層マンションによる新たな景観などが挙げられます。情報や技術の進展に伴って、街の個性が均質化されつつある中で、今ある地域特性を大切に、それに応じた景観を守り、育て、再生することが求められます。

さらに、墨田区では、町会や地域のコミュニティ活動を通して、協治（ガバナンス）の理念によるまちづくりを進めています。景観まちづくりは、街に存在するあらゆる要素の関係及び街に関わる主体の活動の連携によって進められます。そのため、区民・事業者・区の協働による景観まちづくりへの取り組みが必要です。

(2) 景観まちづくりの基本目標、基本方針

墨田区は、「～水と歴史のハーモニー～人が輝く いきいき すみだ」を基本理念としてまちづくりに取り組んでいます。このため、協治（ガバナンス）の考え方にもとづいて、人々やまちのいきいきと躍動する多様な魅力を活かした親しみとやすらぎのある豊かな生活の場にふさわしい景観まちづくりを展開して行くことが求められます。

景観特性と課題の整理のもとに景観まちづくりの基本目標を次の景観まちづくり像のもとに4つの柱で設定し、さらに、これらを踏まえた、景観まちづくりへの具体的な取り組みを基本方針として設定しました。

景観まちづくり像(テーマ)

水辺と歴史に彩られ、下町情緒あふれる“すみだ風景づくり”

景観まちづくりの課題から基本方針に至る流れ

景観まちづくりの課題と景観の特性

課題1 すみだの特徴となる景観を継承する

継承すべきすみだの景観特性

・隅田川・荒川等の水辺、路地空間等の下町風情、向島料亭街・両国の大相撲・旧安田庭園などの歴史・文化

課題2 新しいまちづくりと連動した景観を創造する

新たな景観形成に関わる景観特性

・新たなランドマークの新タワー、北十間川の親水整備、京成押上線の立体化によるまちづくり

課題3 地域の特性に応じて景観を守り、育て、再生する

多様な地域特性に関わる景観特性

・両国や錦糸町などの拠点的な景観、江東内部河川等の自然環境、多様な用途の市街地形成、マンション等の増加、旧来からの商店街

課題4 すみだの景観を区民とともに育む

区民との協働に関わる景観特性

・区民による公園管理、町会による植栽帯の管理、駅前再開発や地区計画などによるまちづくり等

景観まちづくりの基本目標

景観まちづくり像(テーマ)

水辺と歴史に彩られ、下町情緒あふれる
“すみだ風景づくり”

歴史と自然を活かした下町らしい個性豊かな景観まちづくり

区民が世界に誇れるおもてなしの心を育む風格ある景観まちづくり

生活の場としての親しみとやすらぎのある景観まちづくり

区民等とともに考え・創成するすみだらしい景観まちづくり

景観まちづくりの基本方針

都市的自然(水辺、公園、緑)を保全し、まちづくりに活かす

新しいまちづくりと連動・調和して質の高い空間を創出する

これまでに培われてきた歴史・文化をまちに表現する

区民、事業者、区が一体となって、継続性のある景観まちづくりに取り組む

2 - 2 景観まちづくりの基本目標別内容

(1) 歴史と自然を活かした下町らしい個性豊かな景観まちづくり

区域を縁取り、区内を縦横に流れる大小の河川、江戸からの歴史のなかで形成されてきた南北の特徴ある市街地等、すみだの水と緑・まちの特性と成り立ちを大切にしたい、個性ある景観を形成していきます。

これまで継承されてきた下町らしい風景、江戸からの文化を伝える豊かな歴史・文化的資源等、墨田区の豊かな景観特性や景観資源をこれからのまちづくりにも継承し、個性豊かな街並み景観を形成していきます。



<すみだらしさを伝える墨堤の桜>

(2) 区民が世界に誇れるおもてなしの心を育む風格ある景観まちづくり

新タワー周辺の開発により、墨田区は、わが国の新しい情報発信拠点の一つとなり、かつ観光拠点として世界から多くの人が集まる場所になっていきます。このため、新タワー及びその周辺や錦糸町・両国等の拠点となる地区を中心として、開かれたおもてなしの心にもとづいて、墨田区を訪れた人々に感銘を与え、統一感と品格を持ったまちの姿をつくりだしていきます。

それぞれの地区や通りの特性に応じて、すみだの歴史や文化を広く発信し、活発な交流が生まれる場としての魅力を育てていきます。



<東京スカイツリーのイメージと区役所>
(提供：東武鉄道(株)・東武タワースカイツリー(株))

(3) 生活の場としての親しみとやすらぎのある景観まちづくり

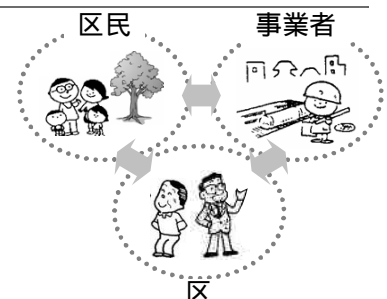
季節を感じる潤いとやすらぎのある空間、これまで先人が育んできたふれあいのある暮らし、それらを支えてきた街並みや地形的特徴等、親しみやすらぎのある景観を継承していきます。



<潤いある住宅地>

(4) 区民等とともに考え・創成するすみだらしい景観まちづくり

協治(ガバナンス)の考え方にもとづき、区民、事業者、区が、それぞれ主体的にまちと関係を持って景観まちづくりに継続的に取り組んでいきます。



2 - 3 景観まちづくりの基本方針別内容

(1) 都市的自然(水辺、公園、緑)を保全し、まちづくりに活かす

河川で縁取られる区域、区内を縦横に流れる江東内部河川、点在する拠点的な緑(公園等)や玄関先の植木や生垣等の身近な緑が、区内の自然的景観の特徴となっています。このことから、こうした水辺と緑との一体性、連続性を高めるとともに、身近に自然が感じられる緑の保全・創出を図ります。



<都市的自然をまちづくりに活かす工夫>

(2) 新しいまちづくりと連動・調和して質の高い空間を創出する

区内の地形は平坦であることから、大規模建築物等では、すみだの個性や特徴ある街並みをつくりだす等、良好な景観形成を図ります。特に、新タワー及びその周辺や錦糸町・両国等の拠点となる地区では、市街地の整備と連動した質の高い景観を創出していきます。

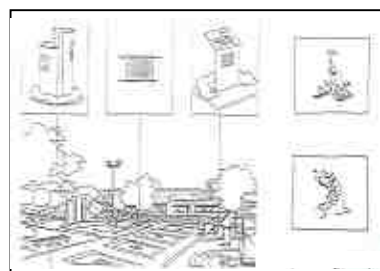


<通りの景観整備のイメージ>

(3) これまでに培われてきた歴史・文化をまちに表現する

江戸から平成へと連綿と続く歴史や培われてきた文化を伝える数多くの歴史・文化的資源の保全と活用を図り、個性ある景観形成を図ります。

また、人々のふれあいのある暮らし、それらを支えてきた街並みを尊重した景観形成を図ります。



<まちの伝統・文化を伝える工夫>
(出典:すみだ風景づくり)

(4) 区民、事業者、区が一体となって、継続性のある景観まちづくりに取り組む

多様な主体と連携しながら、協治(ガバナンス)の視点にたって、区民、事業者、区が一体となり、それぞれの責務を果たしながら景観まちづくりを進めます。



<区民による花壇の整備>